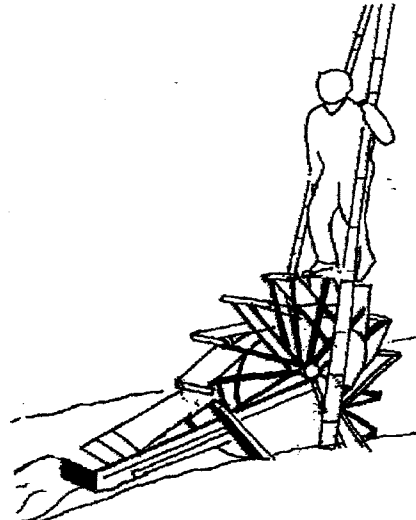


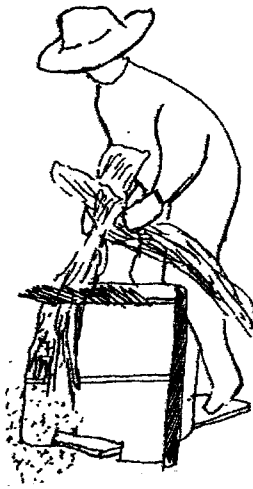
馬屋にある道具②



▲苗籠 (なえかご)
苗を運ぶ。



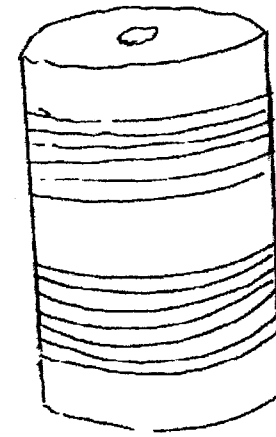
▲踏み車 (ふみぐるま)
水路より高い位置にある水田に水路から水を汲み上げる道具。



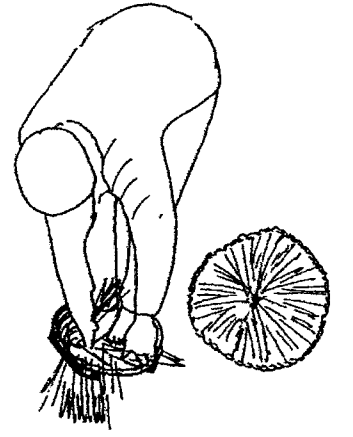
▲千歯扱き (せんばごき)
穀物の実から穂を取る。



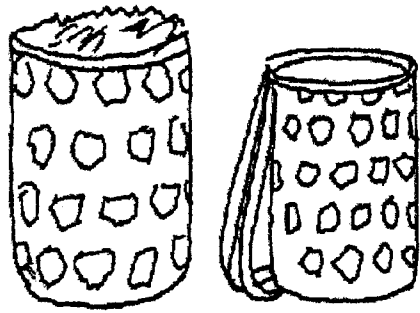
▲たつぶち
穀物の実を叩いて殻やノゲを取る。



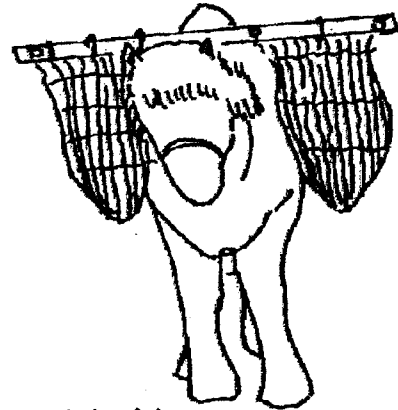
▲貯米器 (ちょまいき)
玄米を貯蔵する容器。



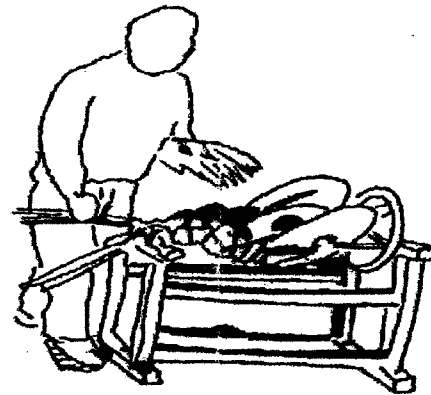
▲棧俵編み台 (さんだわらあみだい)
俵の両側の蓋 (棧俵) を編む円形の台。棧俵の大きさに切った板も使われた。



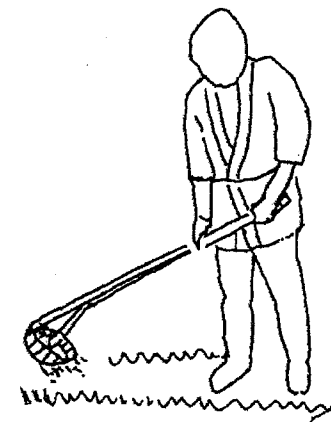
▲籠 (かご)
大型で編目も大きく、桑の葉や落ち葉、刈草などを運ぶ。



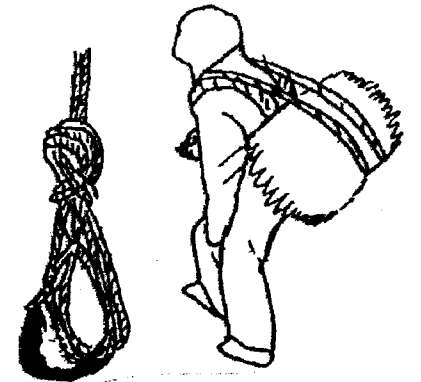
▲たれびく
堆肥 (たいひ) を運ぶ藁 (わら) 製のびく。底部の紐 (ひも) をほどくと堆肥が下に落ちる。



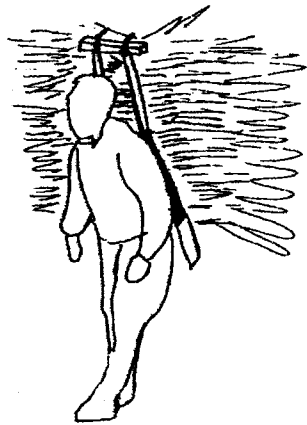
▲縄ない機
藁によりをかけて縄にする道具。



▲麦の土入れ
麦の根元の土をすくい、麦の株の中にふるい込む。



▲荷縄 (になわ)
荷物をまとめ、背中に背負う。



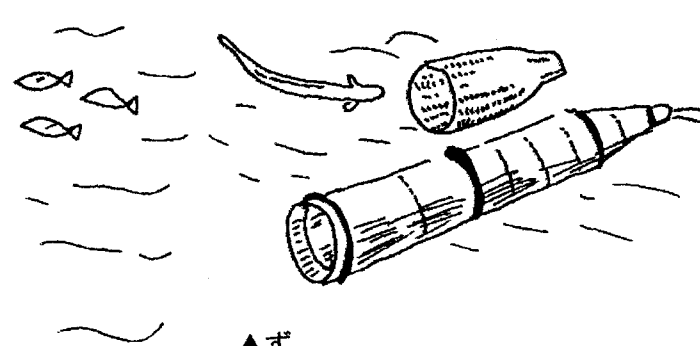
▲やせんま
薪 (まき)、刈草、稲束、炭俵などを背負って運ぶ。



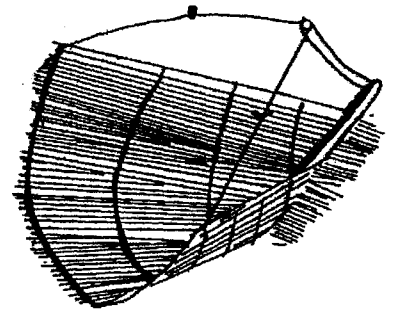
▲縄通 (なわとおし)
俵に棧俵を取り付ける時に縄を通す針の役割をする。



▲ふご
川に沈めて魚を獲る。



▲ず
川や湖沼、水田、用水路、沿海の水中に仕掛けて魚などを獲る。「どう」ともいう。



▲ぶったい
川底の小石や藻 (も) の中に潜む魚類を足で追い込んで獲る。